

「これが私の生きる道」

田村 智靖 (40 歳)
(松山市泊町)



Uターン

1 就農の動機・理由

我が家は先祖代々農家で、私が5代目。幼い頃からいづれ自分が農業を継ぐのだと思っていた。サラリーマンとして働いていたが、仕事が忙しく、家族との時間がなかなか取れず、自分のしたい事も出来ない状況だった。

両親も高齢になり、農作業が遅れがちになるのを感じ始めた頃、国の支援制度等があるということを知り、今がそのタイミングだと就農を決意した。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和2年)	現在の経営 (令和5年)	将来の経営 (令和8年)
労働力	男(本人) 1人	男(本人) 1人 女(妻) 1人	男(本人) 1人 女(妻) 1人
経営耕地	樹園地 54 a	樹園地 76 a	樹園地 119 a
経営内容	温州 6a	温州 6a	温州 20a
	伊予柑 36a	伊予柑 36a	伊予柑 50a
	甘平 4a	甘平 4a	甘平 4a
	愛媛果試第28号 8a	愛媛果試第28号 10a	愛媛果試第28号 10a
		カラマンダリン 10a	カラマンダリン 10a
	せとか 5a	せとか 20a	
	愛媛果試第48号 5a	愛媛果試第48号 5a	愛媛果試第48号 5a

○主要農業機械

軽トラック 1台
選果機 1台

草刈り機 1台
動力噴霧機 3台
スプリンクラー設備 14a

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県松山市泊町(興居島)
職歴 県や市の臨時職員
私立高校教員 など

就農研修歴

両親のもとで果樹関係の研修
(R1.4.1~R2.3.31)

就農年月 令和2年4月

(2) 就農時の思い

両親と作業を一緒にしていたので、就農に対する不安はなかった。農家の高齢化に伴って島内で耕作放棄地が目立ってきており、「どうにかしたい」という思いがあった。そのためには、若い農家を増やして島を盛り上げていきたい、地域に貢献したい、「農業の魅力」を多くの人に知ってもらいたいと考えていた。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

基本的な果樹の技術は両親から、わからないことがあれば、JA指導員や仲の良い先輩や友達に教えてもらった。

就農後、しばらくしてJA青壮年部の青年部長に就任し、石積み講習会や機械整備講習会などを企画し、島のみんなで共に学ぶ場づくりに努めた。ま

た、労働力補完の点から、他部会との交流会を実施し、農繁期の労働力互換交流ができないか模索している。

(2) 資金の準備

農業次世代人材投資資金(経営開始資金)を活用した。

(3) 農地・住宅の確保

親の農地の一部を賃借したほか、新たに農地を取得した。新たに取得した土地は耕作放棄地で、営農できる状態まで戻すのにかなり苦労した。

住宅は、実家で親と同居している。

(4) その他苦労したこと

重機等を使って耕作放棄地を開墾したのはかなり苦労したので、もうしたくない(笑)。それと水の確保が大事、今年のような干ばつがあると特に感じる。加えて、柑橘の収穫時期(農繁期)の人材確保、特に島の場合はフェリー代の負担などもあるので負担が多い。

資材費が高騰のため、補助金を活用したくて、市やJAに相談した。

5 農業経営の特徴

愛媛果試第28号やせとか等の高単価の柑橘と温州・伊予柑などの従来品種をバランスよく組み合わせることで、リスク分散を図っている。また、10月から5月まで長く収穫することで長く収入を得ることを目指している。

今年から、勤めに出ていた妻が経営に参画してくれたので、本格的に規模拡大に向けて二人で協力して頑張ろうと張り切っている。

6 これからの夢

高単価の品種を作りこなして高収益を上げられるようにしたい。

あと、夫婦の時間を大事にしたい。毎年2人で旅行に行くのを楽しみにしたい。

7 成功したキーポイント

就農間もないので、成功したとは思っていない。ただ、最低限の収益は確保できており、人と人とのつながりや関係機関との連携を大事にし、常に新しく楽しい情報を得られるように努めている。JA青年部長時代に自分のカラーを出せたのも良かったと思っている。

8 就農を目指す方へのアドバイス

新規参入する場合は園地や住宅の確保に苦労すると思うが、近所の方や関係機関とのコミュニケーションが大事になる。あと、農業はそんなに汚い仕事じゃない。柑橘や加工品を買った方から「おいしくて感動した」と手紙が来た。人に感動を与えられるものを作れる事は、うれしくて励みになる。

○ 指導機関からのひとこと

興居島の若い農業者のリーダー的存在の田村さん。今後、経営の発展はもちろんのこと、将来の地域のリーダーとしてのご活躍を期待しています！

執筆機関

中予地方局地域農業育成室
電話番号 089-909-8762



夫婦で果樹の選別作業